鴨川市立国保病院の建て替え概要
～まちのコミュニティケア・ホスピタル～

外観イメージ

【新病院の目指すもの】

①災害時に市民を支える

東日本大震災の教訓を生かし、沿岸から約９km の内陸部に位置することから、**災害発生時に全市民の医療や長期避難を支える拠点**とします。

②公的医療と地域包括ケアの推進

医療・介護・予防・生活支援などを一体的に提供する**地域包括ケアシステムの構築**と共にデータヘルス改革を通じた健康レベルの維持向上など、**公的医療の拠点**とします。

③地方創生推進の拠点

24 時間灯りがともる病院は、安心な暮らしを守る病院として、地方への人の流れを支え、仕事づくり、安心してすむことができる**地方創生推進の拠点施設**を目指します。

2020 年度　開院予定

①計画病床数　70 床　（急性期病床、回復期病床、慢性期病床）

②延床面積　5,000 ㎡

③階層　３階

④標榜診療科　12 科　（内科、小児科、整形外科、スポーツ整形外科、泌尿器科、循環器内科、神経内科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科、リハビリテーション科）

１階：外来診察室、検査室、手術室、リハビリテーション室、地域包括ケアセンター

２階：病室、ナースステーション、浴室等

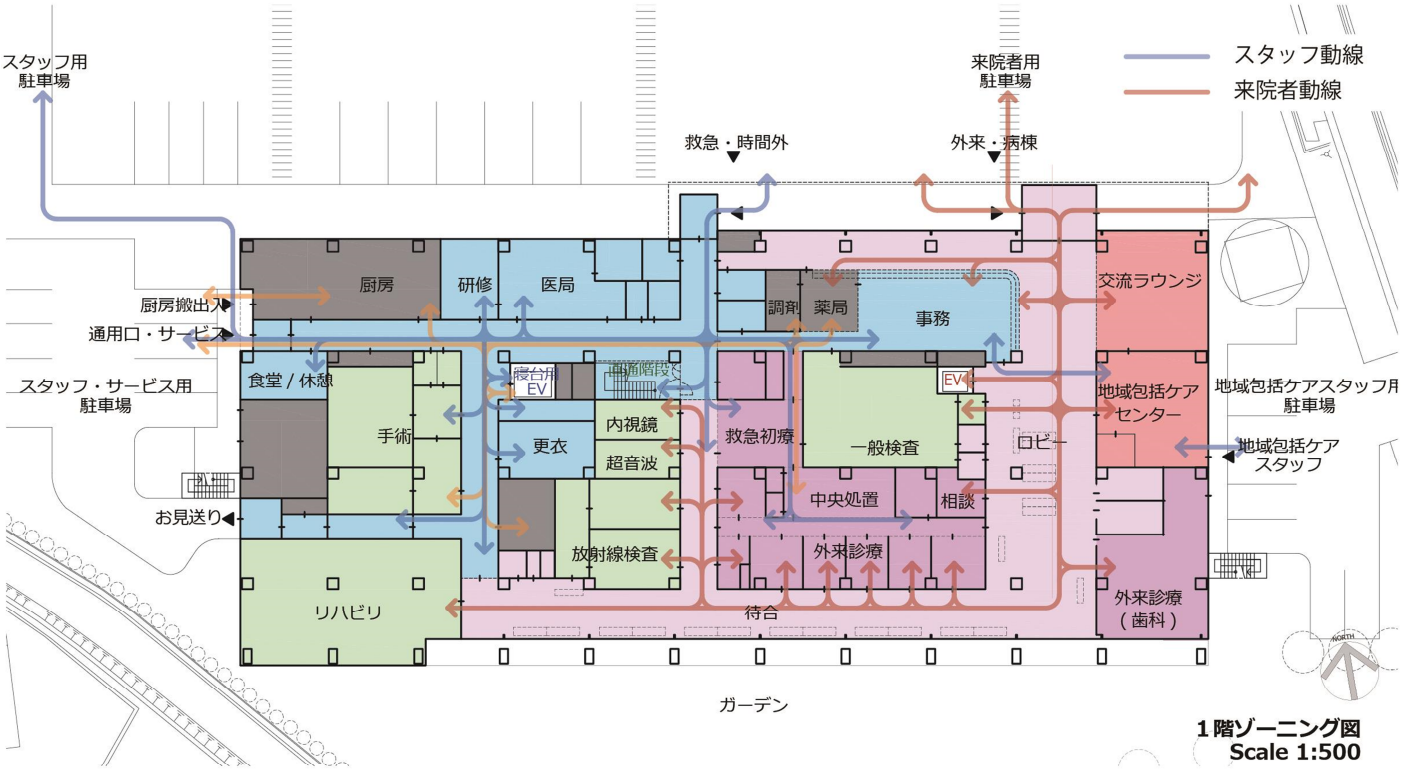
３階：２階と同様

駐車場

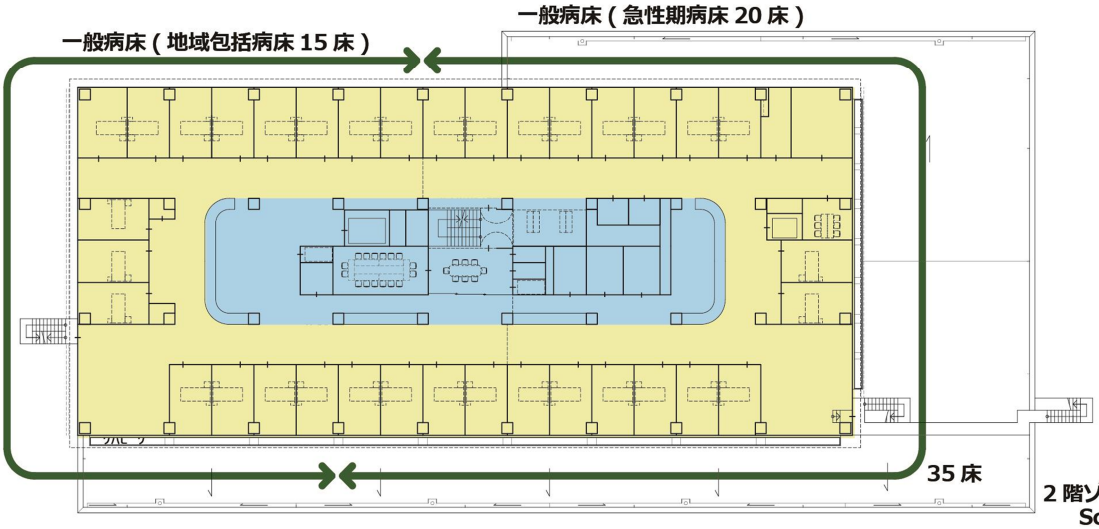
⑤建設工事費　約 20 億円

・既存施設取り壊し費用、外構工事費用、既存棟改修工事費用、医療機器等整備費用等は含まない。

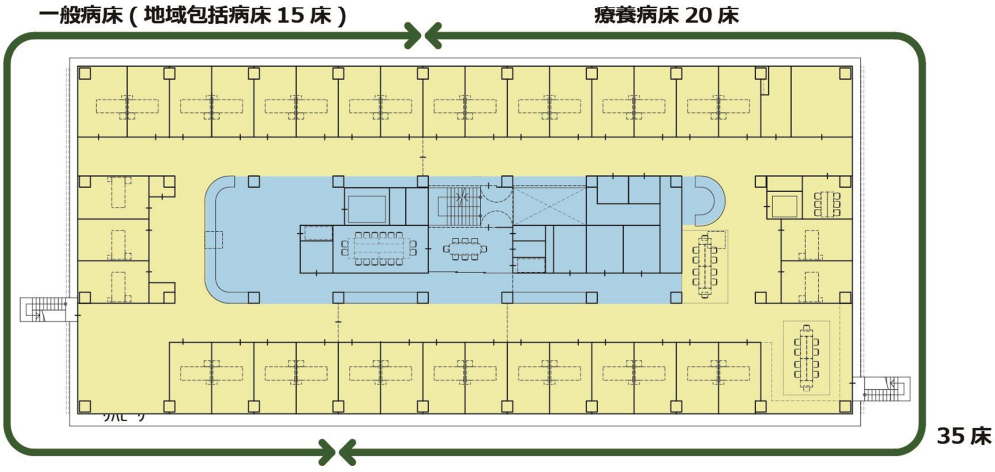
鴨川市立国保病院　各階ゾーニング図



1 階ゾーニング図
Scale 1:500



2 階ゾーニング図
Scale 1:500



3 階ゾーニング図
Scale 1:500